

鎮痒消炎薬

ヒブールER軟膏

第②類医薬品

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 次の部位には使用しないでください (1)水痘(水ぼうそう)、みずむし・たむし等又は化膿している患部。(2)目や目の周囲、粘膜(口腔、鼻腔、膣等)等。2. 顔面には、広範囲に使用しないでください 3. 長期連用しないでください

🗨 相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください (1)医師の治療を受けている人。(2)妊婦又は妊娠していると思われる人。(3)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。(4)患部が広範囲の人。(5)湿潤やただれのひどい人。2. 使用后、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、はれ
皮膚(患部)	みずむし・たむし等の白癬、にきび、化膿症状、持続的な刺激感

3. 5~6日間使用しても症状がよくなる場合は使用を中止し、この箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

副作用被害救済制度 ☎ 0120-149-931

ご使用に際して、この箱の記載内容を必ず読んでください。また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

**効能・効果** 湿疹、皮膚炎、あせも、かぶれ、かゆみ、虫さされ、じんましん

**用法・用量** 1日数回、適量を患部に塗布してください。

〈用法・用量に関連する注意〉※本品に綿棒は付属されていません。

(1)用法・用量を厳守してください。(2)本剤の使用開始目安年齢は10才以上です。小児(15才未満)に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。(3)目に入らないように注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗ってください。なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受けてください。(4)外用にのみ使用してください。

〈鼻に使用する場合の注意〉①鼻の穴入口に使用する際は、**鼻毛の生えているところのみ使用し、粘膜には使用しないでください。**②綿棒で鼻の中を傷つけないように注意してください。また、鼻の奥まで綿棒を入れないでください。③綿棒使用の際は、綿球の先から約1.5cmの部分(綿球の下)を持って、擦らずにやさしく塗布してください。

〈耳に使用する場合の注意〉①**耳の穴には使用しないでください。**②耳の穴入口や周囲に塗布する場合は、薬剤を指や綿棒全体に薄く伸ばしてご使用ください。(薬剤が耳の穴に入らないよう注意してください)③鼓膜に穴が開いていることが疑われる又は耳だれが出ている場合は、使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。④使用后、耳が聞こえにくくなった場合は使用を中止し、この箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。⑤本剤塗布直後はイヤホンや補聴器を使用しないでください。

**成分・分量** プレドニゾロン吉草酸エステル酢酸エステル 0.15g、(100g中) ジフェンヒドラミン 1.0g、グリチルレチン酸 0.3g、メントール 1.0g、トコフェロール酢酸エステル 0.5g 添加物として、流動パラフィン、ワセリンを含有します。

**保管及び取扱い上の注意** (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。(2)小児の手の届かない所に保管してください。(3)他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わります)(4)使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。また、開封後は使用期限内であっても、なるべく速やかに使用してください。

製造販売元

万協製薬株式会社

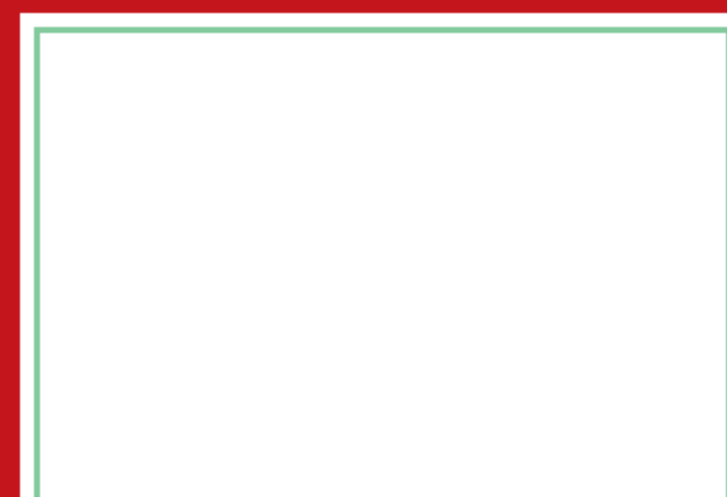
三重県多気郡多気町五桂 1169-142

万協製薬株式会社 「お客様相談室」	電話 0598-30-5376 受付時間 10:00~17:00 (ただし、土、日、祝日は除きます)
----------------------	--



使用期限

製造番号



MADE IN JAPAN

